

## News Release

2005/01/31

### 三浦印刷、ドライダウン確認用乾燥装置「速乾くん」を開発

三浦印刷株式会社（社長 三浦久司）は、印刷直後の印刷物を短時間で乾燥させ、乾燥時の色の变化（ドライダウン）を確認できる高性能菊全判乾燥装置「速乾くん」を開発しました。

#### 新製品の概要



製品名	高性能菊全判乾燥装置『速乾くん』 (特許出願済み)
価格	96万円
販売時期	3月頃
本体寸法	800(横)×400(幅)×480(高)mm
本体重量	35kg

#### 商品化の背景と狙い

印刷物の刷り出しの色調整は、インキが乾燥した状態の色見本に合わせます。しかし、印刷物によっては、乾燥後の色調を予測することが難しく、刷り出し色調整時の課題となっています。ドライダウンの顕著な印刷を行う場合、印刷現場では「市販のヘアードライヤーを使う」「濃度計や色彩計で数値管理を行う」「オペレーターによる勘と経験」といった方法がとられてきました。

ドライヤーの利用は最も確実な方法ですが、部分的にしか乾燥せず、大判サイズとなると2～3人の作業で担当者の負担が大きくなります。数値管理では、色調の変化まで予測するのは困難で、勘と経験においては、正確さに欠け、バラツキがある…といった悩みが生じていました。

そこで、当社は「ドライダウンを短時間で確認できる装置ができないのか?」といった現場の声をもとに装置開発に着手し、高性能菊全判乾燥装置「速乾くん」を開発しました。

#### 【開発コンセプト】

印刷物全面を均一に乾燥させる	できるだけコンパクトに納める
短時間で乾燥させる	100V電源で対応させる

この装置により、勘や経験に頼ることなくドライダウンを確認でき、安定した品質維持が可能となります。また、現場はドライヤーでの乾燥作業から解放されるなど、作業効率も向上します。この装置は、現場の声をもとに開発したものであり、同じような課題を抱えている印刷会社へ販売を開始します。

#### 「速乾くん」の主な特長

- ・ 菊全判までの印刷全面を短時間で、均一に乾燥できます。
- ・ 独自の回転ファン方式<sup>\*1</sup>と抵抗発熱板<sup>\*2</sup>の使用により、効率よく自然乾燥に近い乾燥ができます。
- ・ 乾燥装置内の温度はサーミスター<sup>\*3</sup>で一定温度にコントロールします。
- ・ 運転時間の基本設定は、加熱5分+冷却1分の6分サイクル<sup>\*4</sup>です。

- \* 1 攪拌羽根を用いた回転ファンにより風を起こし、熱風が印刷面に直角に当たり効率よく乾燥します。
- \* 2 高温のヒーターエレメントを両面から耐熱性のよい電気絶縁材料で一体成型した部品です。遠赤外線放射型で薄くて軽く、多くの分野で使用されています。
- \* 3 半導体の一種。温度の測定・制御や各種自動制御回路に利用されています。
- \* 4 測定データからアート紙・コート紙の場合 6 分で 90%、上質紙・マット系の用紙の場合 6 分で 70%の乾燥性能です。

#### 今後の計画

1 月より先行販売キャンペーンを実施。その後年間数十台を見込んで正式販売を開始します。

#### 製品に関するお問い合わせ先

三浦印刷株式会社 技術開発部

Tel : 03-3633-6186 Fax : 03-3633-6245 e-mail : kimura@miura.com

以上

このリリースに関するお問い合わせは・・・

三浦印刷株式会社 経営企画部 広報担当 菊地健史

Tel : 03-3632-1113 Fax : 03-3632-1981 e-mail : kikuchi@miura.com

ホームページアドレス : <http://www.miura.com/>